



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

| | | | |
|-------|------------|------|------------|
| SDS番号 | 39-0067-7 | 版 | 3.00 |
| 発行日 | 2023/03/27 | 前発行日 | 2023/01/10 |

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

Scotch® 速く接着する工作のり

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

接着剤

1.3. 会社情報

| | |
|------|--------------------|
| 供給者 | スリーエム ジャパン株式会社 |
| 所在地 | 本社 東京都品川区北品川6-7-29 |
| 担当部門 | コンシューマービジネスグループ |
| 電話番号 | 042-779-2173 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚感作性： 区分1

発がん性： 区分1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

感嘆符 健康有害性

ピクトグラム

**危険有害性情報**

| | |
|------|-------------------|
| H317 | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ |
| H350 | 発がんのおそれ |
| H402 | 水生生物に有害 |

注意書き**一般：**

| | |
|------|----------------------------------|
| P102 | 子供の手の届かないところに置くこと。 |
| P101 | 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。 |

安全対策

| | |
|-------|---------------------------------|
| P201 | 使用前に取扱説明書を入手すること。 |
| P202 | 安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。 |
| P261 | 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 |
| P280E | 保護手袋を着用すること。 |
| P272 | 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 |
| P273 | 環境への放出を避けること。 |

応急措置

| | |
|-------------|-------------------------------------|
| P302 + P352 | 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。 |
| P333 + P313 | 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。 |
| P362 + P364 | 汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。 |
| P308 + P313 | ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。 |
| P321 | 特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。 |

保管

| | |
|------|-------------|
| P405 | 施錠して保管すること。 |
|------|-------------|

廃棄

| | |
|------|------------------------------------|
| P501 | 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。 |
|------|------------------------------------|

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

| 成分 | CAS番号 | 重量% |
|-----------------|-----------|---------|
| 水 | 7732-18-5 | 30 - 60 |
| アクリル樹脂 | 営業秘密 | 30 - 60 |
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 103-11-7 | 1.6 |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 0.10 |

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

| 物質 | 条件 |
|-------|-----|
| 一酸化炭素 | 燃焼中 |
| 二酸化炭素 | 燃焼中 |

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健

康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 指定された個人保護具を使用する。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

| 成分 | CAS番号 | 政府機関 | 許容濃度または管理濃度 | 備考 |
|-----------------|----------|-----------|--|---|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 103-11-7 | JSOH OELs | 限界値は未設定 | 2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。 |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | ACGIH | TWA : 2 ppm | 皮膚吸収の危険性。 A3: 動物に対して発がん性が確認された物質であるが、人への関連性は不明 |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | ISHL | TLV (8時間) : 2 ppm | |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | JSOH OELs | TWA (8時間) : 4.3 mg/m ³ (2 ppm) | 2A: ヒトに対しておそらく発がん性がある。 皮膚。 |

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA：時間加重平均値
 STEL：短時間ばく露限界値
 ppm：百万分率
 mg/m³：ミリグラム/立方メートル
 CEIL：天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
 サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質：フルオロエラストマー
 ニトリルゴム

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
 半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

| | |
|---------------|-----------|
| 外観 | 液体 |
| 物理的状態: | エマルジョン |
| 色 | 乳白色。 |
| 臭い | わずかなアクリル臭 |
| 臭いの閾値 | データはない。 |
| pH | 7.5 |
| 融点・凝固点 | 0 °C |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲 | 100 °C |
| 引火点 | データはない。 |
| 蒸発速度 | データはない。 |
| 引火性 (固体、ガス) | 適用しない |
| 燃焼点 (下限) | データはない。 |

| | |
|---|---------------------|
| 燃焼点（上限） | データはない。 |
| 蒸気圧 | データはない。 |
| 蒸気密度/相対蒸気密度 | データはない。 |
| 密度 | 1 g/cm ³ |
| 比重 | 1 |
| 溶解度 | データはない。 |
| 溶解度（水以外） | データはない。 |
| n-オクタノール/水分分配係数 | データはない。 |
| 発火点 | データはない。 |
| 分解温度 | データはない。 |
| 粘度/動粘度 | 55 mPa-s |
| 揮発性有機化合物 | データはない。 |
| 揮発分 | データはない。 |
| 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない） | データはない。 |

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

沸点以上の温度

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

知見はない。

条件

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

| 名称 | 経路 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|----------------|----------------|-----|--------------------------------|
| 製品全体 | 皮膚 | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| 製品全体 | 吸入－蒸気 (4時間) | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l |
| 製品全体 | 経口摂取 | | 利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg |
| アクリル酸2-エチルヘキシル | 皮膚 | ウサギ | LD50 > 10,000 mg/kg |
| アクリル酸2-エチルヘキシル | 経口摂取 | ラット | LD50 4,430 mg/kg |
| アクリロニトリル | 皮膚 | ウサギ | LD50 226 mg/kg |
| アクリロニトリル | 吸入－蒸気 (4時間) | ラット | LC50 2 mg/l |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | ラット | LD50 93 mg/kg |

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|-----------------|-----|---------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | ウサギ | 刺激物 |
| アクリロニトリル | ウサギ | 刺激物 |

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|-----------------|-----|---------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | ウサギ | 刺激性なし |
| アクリロニトリル | ウサギ | 腐食性 |

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

| 名称 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|-----------------|--------|---------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | ヒト及び動物 | 感作性あり |
| アクリロニトリル | ヒト及び動物 | 感作性あり |

呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 |
|-----------------|----------|--------------------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | In vivo | 変異原性なし |
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | In vitro | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |
| アクリロニトリル | In vitro | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |
| アクリロニトリル | In vivo | 陽性データはあるが、分類には不十分。 |

発がん性

| 名称 | 経路 | 生物種 | 値又は判定結果 |
|-----------------|--------|-----|---------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 皮膚 | マウス | 発がん性 |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | ラット | 発がん性 |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | ラット | 発がん性 |

生殖毒性

生殖発生影響

| 名称 | 経路 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|-----------------|--------|---------------------|-----|------------------|-------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 吸入した場合 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 0.75 mg/l | 妊娠期間中 |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 雌について生殖毒性は区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 35 mg/kg/日 | 3 世代 |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 雄について生殖毒性は区分に該当しない。 | マウス | LOAEL 10 mg/kg/日 | 60 日 |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 発生毒性区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 0.09 mg/l | 器官発生期 |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 発生機能に有毒 | ラット | NOAEL 25 | 器官発生期 |

| | | | | | |
|--|--|--|--|---------|--|
| | | | | mg/kg/日 | |
|--|--|--|--|---------|--|

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|-----------------|--------|---------|--------------|---------|-----------|----------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 呼吸器への刺激のおそれ。 | ラット | NOAEL 非該当 | |
| アクリロニトリル | 皮膚 | 神経系 | 臓器への影響 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 神経系 | 臓器への影響 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 肝臓 | 臓器障害のおそれ | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 呼吸器への刺激 | 呼吸器への刺激のおそれ。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 心臓 | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 中毒ないし乱用時 |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 血液 | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 神経系 | 臓器への影響 | ラット | NOAEL 非該当 | |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 内分泌系 | 臓器障害のおそれ | ラット | NOAEL 非該当 | |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 血液 | 区分に該当しない。 | 多種類の動物種 | NOAEL 非該当 | |

特定標的臓器毒性、反復ばく露

| 名称 | 経路 | 標的臓器 | 値又は判定結果 | 生物種 | 試験結果 | ばく露期間 |
|-----------------|--------|------------------|---------------------------|--------|--------------------|--------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 吸入した場合 | 内分泌系 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 0.75 mg/l | 90 日 |
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 吸入した場合 | 嗅覚系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 0.08 mg/l | 90 日 |
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 吸入した場合 | 呼吸器系 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 0.75 mg/l | 90 日 |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 神経系 | 長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 呼吸器系 | 長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ | ラット | LOAEL 0.045 mg/l | 2 年 |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 心臓 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 0.18 mg/l | 2 年 |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 消化管 | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 非該当 | |
| アクリロニトリル | 吸入した場合 | 血液 肝臓 免疫システム | 区分に該当しない。 | ヒト | NOAEL 非該当 | 職業性被ばく |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 神経系 | 長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ | ラット | NOAEL 25 mg/kg/day | 12 週 |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 内分泌系 | 長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ | ラット | NOAEL 14 mg/kg/day | 60 日 |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 肝臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 25 mg/kg/day | 2 年 |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 心臓 | 区分に該当しない。 | ラット | NOAEL 14 mg/kg/day | 2 年 |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 血液 | 区分に該当しない。 | ラット | LOAEL 14 mg/kg/day | 2 年 |
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 腎臓および膀胱 | 区分に該当しない。 | 多種類の動物 | NOAEL 非該当 | 非該当 |

| | | | | | | |
|----------|------|------|-----------|----------|-------------------|-----|
| アクリロニトリル | 経口摂取 | 呼吸器系 | 区分に該当しない。 | 種 ラット | NOAEL 25 mg/kg | 2 年 |
|----------|------|------|-----------|----------|-------------------|-----|

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

| 材料 | CAS番号 | 生物種 | 種類 | ばく露 | テストエンドポイント | 試験結果 |
|----------------|----------|------|-----|-------|------------|-------------|
| アクリル酸2-エチルヘキシル | 103-11-7 | 液状化 | 実験 | 30 分 | EC20 | >1,000 mg/l |
| アクリル酸2-エチルヘキシル | 103-11-7 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | EC50 | 1.71 mg/l |
| アクリル酸2-エチルヘキシル | 103-11-7 | ニジマス | 実験 | 96 時間 | LC50 | 1.81 mg/l |
| アクリル酸2-エチルヘキシル | 103-11-7 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | 1.3 mg/l |
| アクリル酸2-エチルヘキシル | 103-11-7 | ミジンコ | 推定値 | 21 日 | NOEC | 0.136 mg/l |
| アクリル酸2-エチルヘキシル | 103-11-7 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | NOEC | 0.45 mg/l |
| アクリロニト | 107-13-1 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | ErC50 | 10 mg/l |

| | | | | | | |
|----------|----------|----------------|----|-------|------|-----------|
| リル | | | | | | |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | メダカ | 実験 | 96 時間 | LC50 | 5.1 mg/l |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | シーブスヘッドミノウ | 実験 | 96 時間 | LC50 | 8.6 mg/l |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | ミジンコ | 実験 | 48 時間 | EC50 | 2.5 mg/l |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | ファットヘッドミノウ (魚) | 実験 | 30 日 | NOEC | 0.17 mg/l |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 緑藻類 | 実験 | 72 時間 | NOEC | 0.95 mg/l |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | ミジンコ | 実験 | 21 日 | NOEC | 0.5 mg/l |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 液状化 | 実験 | 24 時間 | EC50 | 400 mg/l |

残留性・分解性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|-----------------|----------|-------------|------|----------------|-----------------|-------------------------------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 103-11-7 | 実験 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 70-80 %BOD/ThOD | |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 実験 水生固有生分解性 | 14 日 | 生物学的酸素要求量 | 96 %BOD/ThOD | OECD 302C MITI変法 (II) |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 実験 生分解性 | 28 日 | % | 78.9 % | OECD テストガイドライン306 (海水中生分解性試験) |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 実験 生分解性 | 28 日 | 生物学的酸素要求量 | 23 %BOD/ThOD | OECD 301C類似法 |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 実験 光分解 | | 光分解半減期 (空气中) | 8.1 日 (t 1/2) | |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 実験 加水分解 | | 加水分解性半減期 (pH7) | >1 年 (t 1/2) | |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 実験 好気性土壌代謝 | | 半減期 (t 1/2) | 6 日 (t 1/2) | |

生体蓄積性

| 材料 | CAS番号 | 試験の種類 | 期間 | 試験の種類 | 試験結果 | プロトコル |
|-----------------|----------|------------|------|---------------|-------|------------------------------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | 103-11-7 | 推定値 生態濃縮 | | 生物濃縮係数 | 270 | |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 実験 BCF - 魚 | 28 日 | 生物濃縮係数 | 48 | |
| アクリロニトリル | 107-13-1 | 実験 生態濃縮 | | オクタノール/水 分配係数 | 0.017 | EC A.8 Partition Coefficient |

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

化管法：第 1 種指定化学物質

本製品は下表の毒物及び劇物取締法の情報が表示されている物質を含むが、毒物及び劇物取締法の製剤には該当しない。

労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

| 成分 | 法律又は政令名称 | 2024年3月31日まで | 2024年4月1日以降 |
|----------|----------|--------------|-------------|
| アクリロニトリル | アクリロニトリル | 該当 | 該当 |

化管法

| 成分 | 政令名称 | 管理番号 | 分類（2023年3月31日まで） | 分類（2023年4月1日以降） |
|-----------------|-----------------|------|------------------|-----------------|
| アクリル酸 2-エチルヘキシル | アクリル酸 2-エチルヘキシル | 564 | 該当なし | 第1種指定化学物質 |

毒物及び劇物取締法

| 成分 | 法律又は政令名称 | 毒物及び劇物取締法 |
|----------|---------------------|-----------|
| アクリロニトリル | 有機シアン化合物及びこれを含有する製剤 | 劇物 |

16. その他の情報

改訂情報

セクション 12：残留性および分解性の情報 情報修正.

セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。